

Bohle UV 接着用ピボットヒンジ 取付説明書

52-062-60、52-062-61、55-002-81、55-002-83

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はガラス製のキャビネットに取り付けるガラスドア用のヒンジで、紫外線硬化型接着剤（以下、「UV 接着剤」といいます。）を使って取り付けるためのものです。このほかの目的には使わないようにしてください。

取り付けの際は、この取付説明書をよくお読みになってから、作業をお始めください。

この説明書において表示した数値のうち、一つの数値だけで表した物は、52-062-60、55-002-81 および 52-062-61、55-002-83 のデータを表しており、二つの数値で表した物は、[] で囲われていない数値は、52-062-60、55-002-81 のデータを表しており、[] で囲われた数値は、52-062-61、52-002-83 のデータを表しています。

I この製品について

■ 1 この製品の特長

- ・ガラスドアは、キャビネットに対して、インセットになります。
- ・ステンレス鋼製です。
- ・ヒンジはドアパネルの外側に取り付けられ、その開き角度は、取付位置にもよりますが、約 200 度です。

■ 2. 製品仕様

1 適用する家具

(1) ドアパネル

- [1] 質量は、ヒンジ 1 組で 幅 450mm×高さ 600mm×厚さ 8mm 以下
[幅 500mm×高さ 700mm×厚さ 8mm 以下]
- [2] 縦と横の比は、3 : 2 以下にしてください。

(2) キャビネット

- [1] ガラスの厚みは、6 ~ 12 mm にしてください。
キャビネットは、ドアを吊るための強度およびキャビネット全体として機能できる強度で設計してください。
- [2] ドアパネルの縦の縁とキャビネットの側板との間には、すき間：SK (2 mm 以上) が必要です。
- [3] ドアパネルの上下の縁とキャビネットの天板または地板との間には、すき間：VK (3mm 以上) が必要です。
- [4] 両開きドアパネルのとき、中央にはドアパネル間のすき間：ZK (2 mm 以上) が必要です。

UV 接着用ピボットヒンジを使用して、接着した後に、位置の変更や調節はできません。

- (3) 各ヒンジは、キャビネットが完成してから、取り付けてください。

2 ドアパネルの幅の計算式

(1) ドアパネルの幅

ドアパネルの幅は下の式で計算してください。

TB : ドアパネルの幅

KIBM : キャビネットの幅の内法

[1] 1 枚ドアパネルのとき: $TB = KIBM - (2 \times SK)$

[2] 2 枚ドアパネルのとき: $TB = KIBM \div 2 - (SK + ZK \div 2)$

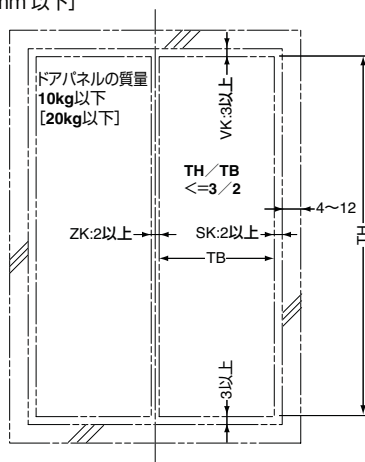
(2) ドアパネルの高さ

ドアパネルの高さは下の式で計算してください。

TH : ドアパネルの高さ

KIHM : キャビネットの高さの内法

$TH = KIHM - 2 \times VK$



II 作業の前にしていただくこと

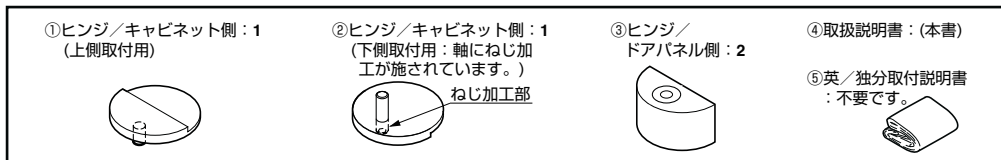
■ 1 内容物と数量を確認してください。

商品が届いたらすぐに梱包を解き、内容物の数と状態の確認を行ってください。不足や不備があったら、使用せずに直ちに販売店様または当社までご連絡ください。

梱包内容

品番：52-062-60、52-062-61、55-002-81、55-002-83

(ヒンジ形状は異なりますが、梱包内容は同様)



■ 2 ドアパネルとキャビネットの寸法を確認してください。

キャビネットを組立ててください。キャビネットは、

[1] 四辺の枠のそれぞれ垂直になるように組立ててください。

[2] BOHLE UV 接着剤を使い、強固に組立ててください。

III 作業をする方へのお願い

■ 1 本書について

本取付説明書は、キャビネットに1枚または2枚のガラスドアパネルを Bohle UV 硬化形接着剤用ヒンジで接続することを想定した上で、最も安全でかつ効率的に取り付けできると考えられる方法を記載しました。取り付けの順序や方法を規制する内容ではありません。取り付け作業に当たる方におかれましては、専門家としてのノウハウをお持ちのことと考えておりますので、この取付説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて製作してください。その場合においても、事前にこの取付説明書に必ず一度は目を通してくださるようお願いいたします。

■ 2 免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、弊社の影響の及ばない多くの要素から成り立っています。したがって弊社では、これらが原因となって発生した副次的な損失や障害、または出費についての責は負うことができませんので、ご容赦ください。ご理解ください。

IV ヒンジを取り付ける前に

■ 1 説明図の寸法について

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や、材料そのものの変形等を考慮していません。作業においては、このことをご考慮の上、切断等の加工を行ってください。

1 ドアに部品が組み込まれている場所の寸法は、部品の寸法です。加工寸法でないのでご注意ください。

2 寸法のうち、「以内」、「以下」を含んだ寸法は、その範囲ならどこにでも取り付けられることを表していますが、なるべく表示寸法を採用するようにしてください。何かの都合で、その寸法では取り付けできないときは、その側だけに僅かに動かせることと解釈ください。

3 寸法のうち、～を含んだ寸法は、両端の数字を含んでいます。この間の数値はどれを採用されても問題ありません。

■ 2 お願い

UV 接着用ピボットヒンジは、回転限界角度の表記をしてあります。この角度はUV 接着用ピボットヒンジが単独で開く限界角度のことをいっています。これが付いたドアパネルは、この角度よりも多くは開けません。ドアパネルには開いたときの慣性でそれ以上開こうとする力が発生します。この力が原因で、ドアパネルがさらに多く引こうとし、取付部が剥がれたり、ドアパネルが変形したり、建築物に思わぬ力がかかったときは、建築物やドアパネルに傷をつけてしまうこともあります。

ドアパネルが、UV 接着用ピボットヒンジの限界角度より小さい位置に別に戸当たりを設けると、ドアパネルの慣性によって発生するこのような力は大きく軽減します。その結果、上のような事故が発生する機会を著しく軽減させることができます。このような観点から、UV 接着用ピボットヒンジの開き角度より早くにドアパネルの回転を止める戸当たりを設けることをお勧めします。

V 作業手順

■ 1 キャビネットにドアパネルを組み込みます。

1 ドアパネルを配置してください。

(1) キャビネットを、その表面を上にして、水平で安定した場所に置いてください。

(2) ヒンジ②は、軸を取り外せます。それを下側にもってきてください。

(3) ドアパネルとキャビネットとが、正しい位置関係なるよう配置してください。

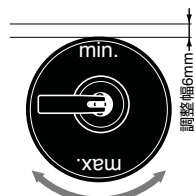
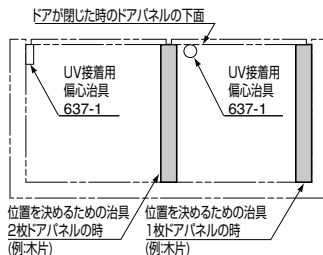
ドアパネルの下面に、位置決め用の UV 接着用偏芯治具 637-1 または木片等をあてがってください。

<1> 治具は、ドアパネルの対辺に 2 個ずつ、できるだけ離れた位置に置いてください。

<2> UV 接着用偏芯治具 637-1 は、位置（高さ）の調節ができます。

<3> ドアパネルの各辺と、キャビネットとのすきまを正しく決めてください。

<4> 位置が決まったら、ドアパネルを静かに外してください。

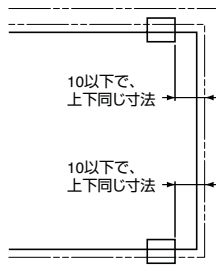


UV 接着用偏芯治具 637-1

2 ヒンジの位置決めには、このようなことに注意してください。

(1) ヒンジの位置は、ドアパネルの縁から 10 mm 離して取り付けてください。

(2) ドアを開けると、ドア吊元側は、キャビネットの内側に入り込みます。棚などはその事を考慮して計画してください。



■ 2 ドアにヒンジを取り付けてください。

(1) 上下のヒンジ③が整列し、側板とヒンジ③の縁と間隔が同じになるようにスペーサなどを使って位置を決めてください。

(2) 接着剤を、ドアパネルのヒンジ③を取り付ける部分に塗ってください。

(3) ヒンジ③を指でつまみ、ヒンジ③を貼り付け位置に置いてください。

△注意

55-002-81、55-002-83 は平らに磨いた裏面が接着面です。

(4) もう一度、貼り付け位置を確認してください。

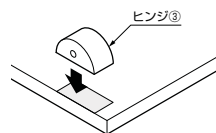
(5) 接着する位置に、ヒンジ③を置いてください。

※ 以下は、UV 接着剤の取扱説明書をご覧ください。

(6) ドアパネルのヒンジ③を貼り付けた面と反対側から UV ランプをあてて、一次照射を行ってください。

(7) ヒンジ③からはみ出した接着剤を、スクレーパなどで削り落としてください。

(8) 二次照射を行なって、接着剤を完全に硬化させてください。



■ 3 キャビネットにヒンジを取り付けてください。

キャビネットにドアパネルを戻してください。

(1) ドアパネルに貼り付けたヒンジ③に、ヒンジ①②を組み込んでください。

(2) ドアパネルを静かに、キャビネットの元の場所に置いてください。

(3) 接着剤を、キャビネットのヒンジ①②を取り付ける部分に塗ってください。

※ ヒンジ②は、軸を取り外せます。それを下側にもってきてください。

(4) ヒンジ①②をつまみ、ヒンジ①②を、キャビネットの天板、地板に押し付けてください。

※ 一次照射が終わるまでは、そのまま押し付けていてください。

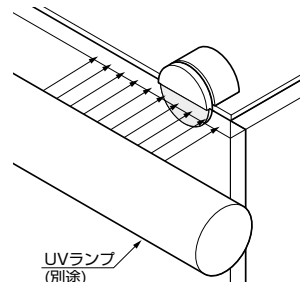
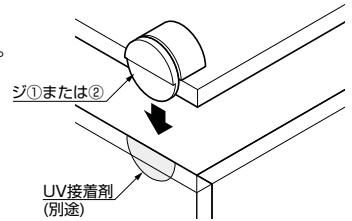
※ 以下は、UV 接着剤の取扱説明書をご覧ください。

(5) キャビネットの、ヒンジ①②を貼り付けた面と反対側から UV ランプをあてて、一時照射を行なってください。

(6) ヒンジ①または／およびヒンジ②からはみ出した接着剤を、スクレーパーなどで削り落としてください。

※ ヒンジ② のねじを静かに外して、ドアパネルをキャビネットから離してください。

(7) 二次照射を行なって、接着剤を完全に硬化させてください。



■ 4 キャビネットを立ててください。

1. キャビネットは、全部のヒンジの硬化が終わってから、動かしてください。

2. ドアパネルが開きすぎないように、閉まりすぎないように、戸当たりを用意してください。

3. 必要に応じて、その他のドア用アクセサリを装着してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 月～金 **9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国際名検点 ※ISO14001:千原事業部 千原工場 および 穂波事業部 穂波センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>

2014.12 PRINTED IN JAPAN 0654-2